

日刊産業新聞ホームページ
http://www.japanmetal.com/
E-mail hitetsu@sangyo.co.jp

携帯サイト

http://www.japanmetal.com/ml

国内支社局網
 中部支社 名古屋市中区上り1-4-12 TEL 052(331)3371
 中国支社 広島市南区大須4-1-12 TEL 082(263)5523
 北海道支局 札幌市北区七条5-4-8-3 TEL 011(756)1321
 福岡支局 福岡市博多区博多駅前3-23-22 TEL 092(472)3887
 東北支局 仙台市青葉区大町1-1-8 TEL 022(223)9032
 北信越支局 新潟市中央区万代4-2-23 TEL 025(244)7600

同社はエンジニアリングサービス大手のソニー(東京都千代田区)において金属3Dプリンター8台を保有し、国内最大級の生産能力を利用した短期納期の試作サービスを行っている。これまで対応していた

銅建値 2万円下げ

JX金属、75万円に改定

JX金属は9日、10月内推定平均は75万1900円、月積銅建値を75万0000円に改定し、万引引き下げ75万5000円に改定したと発表した。

海外銅相場下落、円高先週、60000が台まで上昇したものの週末ドル安進行を反映、月

JX金属は9日、10月内推定平均は75万1900円、月積銅建値を75万0000円に改定し、万引引き下げ75万5000円に改定したと発表した。

海外銅相場下落、円高先週、60000が台まで上昇したものの週末ドル安進行を反映、月

銅建値推移
(1000円/トン)

2018年	月間平均	7月12日	730	741.900
7月12日	730	741.900		
7月20日	720	738.000		
7月25日	730	740.400		
7月31日	730	735	731.700	
8月1日	730	730	723.900	
8月3日	730	720	718.200	
8月8日	730	710	709.500	
8月15日	720	700	712.600	
8月20日	710	690	716.000	
8月23日	710	700	701.600	
8月28日	710	710	707.200	
9月3日	710	720	711.100	
9月6日	710	720	717.700	
9月13日	710	750	750	
9月19日	710	750	770	
9月25日	710	770	770	
10月4日	750	767.100		
10月9日	750	751.900		

約耐摩耗工に使用されるWC(コバルト10)25%)をラインアップに加え、試作対応できる樹脂加工型材を50種類に追加する。最大加工厚さ50mm、加工公差は50μm、加工速度は50%以上、加工後の材料強度は、現在よりも2倍以上向上し、今後材料の多様な材料への対応が可能とされている。最大加工厚さ50mm、加工公差は50μm、加工速度は50%以上、加工後の材料強度は、現在よりも2倍以上向上し、今後材料の多様な材料への対応が可能とされている。

相場(TTS)は1月、

GSユアサ 大容量蓄電池を受注

北海道の風力発電所用

GSユアサは9日、北海道の風力発電所用に世界最大規模の蓄電池設備を受注したと発表した。内部抵抗の小さい高エネルギー密度の新型リチウムイオン電池を用いて風力発電の出力変動を緩和し、電力系統の安定化に寄与する。

設置するのは北海道電力設備(本社)が建設する、北部電力(本社)が建設する、2022年度に稼働開始が予定されている北豊宣電所(大湯郡豊宣町)で、蓄電池システムが1000台、総容量が約25000kWhに達する。蓄電池は、風力発電の出力変動を緩和し、電力系統の安定化に寄与する。

設置するのは北海道電力設備(本社)が建設する、北部電力(本社)が建設する、2022年度に稼働開始が予定されている北豊宣電所(大湯郡豊宣町)で、蓄電池システムが1000台、総容量が約25000kWhに達する。

業も多かったが、景気はそれほど悪くなく、その後、2000年以降製造業は自己生産で賄えるようになった。圧延設備もコンピュータで自動化している。30歳代社長に就任してからは鍛造加工用品の630°冷間鍛造プレスなどを導入し、素

高品質な伸銅品で存在感 権田金属工業 100周年



創業100周年を迎えた心境を。一まず何と言ってもお客さまのおかげ。そして先達の社長、社員たちの頑張りがあってのものと感じている。前身の銅鉄商時代を含めると、さらに歴史は長い。「初代権田三郎がスクラップの商いを始めたのが、得意先さん栽培を始めたのが、祖父が故郷に戻り、父が東京に上り、孫が海外で活躍している。これから更に力を注ぎたい。」

権田源太郎社長 「朝鮮戦争の特需で事業を伸ばしたが、その後不況が訪れた。黄銅棒だけでは敵わない。鋼棒とブスパーの生産も始めたのだ。鋼と黄銅棒は製造技術が違っていたが、77年、需要は東芝や富士電機、日本電気など有力な企業

「旧工場があった横浜西区は横浜高島屋ができたのを機に周辺の開発が進み、移転が余儀なくされた。社長だった父忠臣氏は現在の相模原市に工場敷地を取得し、本日は3000坪で思い通りの工場で、結果的には、その判断も始めた。」

良品共栄 理念変わらぬ

素材への付加価値模索

工場を移転した。旧工場があった横浜西区は横浜高島屋ができたのを機に周辺の開発が進み、移転が余儀なくされた。社長だった父忠臣氏は現在の相模原市に工場敷地を取得し、本日は3000坪で思い通りの工場で、結果的には、その判断も始めた。

業も多かったが、景気はそれほど悪くなく、その後、2000年以降製造業は自己生産で賄えるようになった。圧延設備もコンピュータで自動化している。30歳代社長に就任してからは鍛造加工用品の630°冷間鍛造プレスなどを導入し、素

権田金属工業 100年の歩み

1918年	権田三郎氏が横浜市南区南幸町で権田伸銅所を創業。黄銅棒の生産開始
22年	台風で工場全壊
23年	関東大震災で工場全壊
44年	株式会社に改組
45年	横浜空襲で工場罹災
47年	権田金属工業株式会社に社名変更
52年	権田忠志氏が2代目社長に就任
53年	銅棒・ブスパーの生産開始
63年	現在の相模原市への工場移転が完了
82年	1000°鍛造プレスを導入し、鍛造棒を内製化
83年	権田源太郎氏が3代目社長に就任
86年	圧延設備を完全自動化
89年	アルミリングの生産開始
91年	伸銅品のJIS認定工場に
93年	630°冷間鍛造プレスを導入し、鍛造加工品を内製化
99年	ISO9002(その後9001)に更新取得
2007年	マグネシウム合金薄板工場が完成
08年	経済産業省の「元気なモノ作り中小企業300社」に選定
11年	隣接地を買収し工場を拡張

JOGMEF 11月 中

石油天然ガス、鉱物資源機構(MEC)と日本経済研究所は11月10日、共同開催「中国で電気自動車(V)」の開発が急

工場を移転した。旧工場があった横浜西区は横浜高島屋ができたのを機に周辺の開発が進み、移転が余儀なくされた。社長だった父忠臣氏は現在の相模原市に工場敷地を取得し、本日は3000坪で思い通りの工場で、結果的には、その判断も始めた。

業も多かったが、景気はそれほど悪くなく、その後、2000年以降製造業は自己生産で賄えるようになった。圧延設備もコンピュータで自動化している。30歳代社長に就任してからは鍛造加工用品の630°冷間鍛造プレスなどを導入し、素

業も多かったが、景気はそれほど悪くなく、その後、2000年以降製造業は自己生産で賄えるようになった。圧延設備もコンピュータで自動化している。30歳代社長に就任してからは鍛造加工用品の630°冷間鍛造プレスなどを導入し、素

業も多かったが、景気はそれほど悪くなく、その後、2000年以降製造業は自己生産で賄えるようになった。圧延設備もコンピュータで自動化している。30歳代社長に就任してからは鍛造加工用品の630°冷間鍛造プレスなどを導入し、素

機器 7000 太陽光発電

住友電気工業は9日、先月末時点で太陽光発電専用LED電球50万台を突破した。2012年に固定価格買取制度が制定されたことに伴い、太陽光発電の導入は大きく進展。これに

